

## NANTO ルーム推薦図書 Talk Café 第4回 2023.6.22

第4回は外国語学部長の牛田先生をお迎えして開催しました。あいにくの空模様にもかかわらず、多くの方が足を運んでくださり、大変実りのある時間となりました。

今回の推薦図書は『人種主義の歴史』。牛田先生は、次の二つのことを念頭に、この本を推薦図書に選んだそうです。一つ目が、学生（特に新入生）に手に取ってもらえる本であること、外国語学部のどの学科に所属していても（勿論、他の学部の皆さんにとっても）国や地域を超えた共通のテーマであること、2つ目が、信頼できる執筆者と出版社から発行されていること。著者の平野氏は、牛田先生が最初に教鞭をとった大学の同じ部屋で机を並べていた研究



者で、今でも交流があり今回の本も平野氏ご自身から献本されたそうです。膨大な史・資料を確認して様々な問題に正面から取り組む姿勢や緻密な文章構成、日本語の表現力に触れることは、学生の皆さんが卒業論文やレポートを作成するうえで大きな力になるはずと話してくださいました。

本書は「「人種」という根拠なき考えに基づいて、人を差別・排除する。人種主義（レイシズム）はナショナリズムや反ユダヤ主義と結びつき、近代世界に計りしれぬ惨禍をもたらし、ヘイトスピーチ・黒人差別など、現代にも深い影を落としている。大航海時代から今日まで、その思想と実態を世界史的視座からとらえる入門書」と表紙の見返しに紹介されています。

人の毎日の営みの中で何らかの相違点が見出され、新たな差別が生まれる。何が問題なのか、その問題と自分はどのように向き合うのか不断の思考を続けることが大切であるというメッセージを、この本から、そして牛田先生のお話から受け取ることができました。

■今回取り上げられた作品

人種主義の歴史： 平野千果子著. 岩波書店（岩波新書 1930）, 2022

081K||2356-3||v.1930

